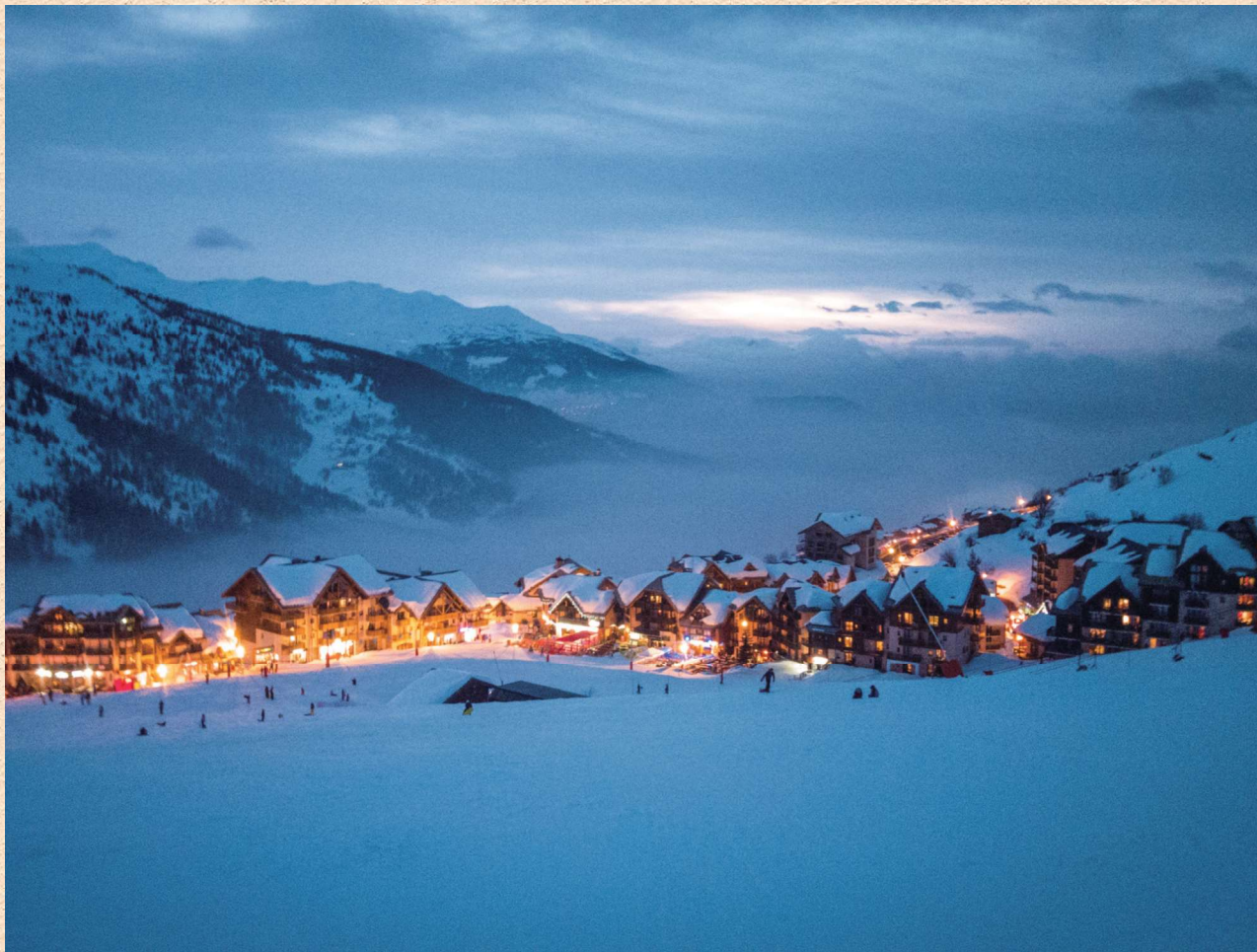




“神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。” ヨハネの福音書3章16節



寂しさを感じているあなたに

クリスマスおめでとうございます。
この時期、お店も街もさまざまなところがクリスマスカラーに染まります。多くの方々がクリスマスプレゼントやおいしい食事を待ち望み、ツリーを飾ります。街全体が何となく高揚感に包まれているように感じます。

その一方で、「クリスマスが好きでない」という方もおられるのではないかと思います。特に、体調の不調や人間関係の悩み、社会や未来への不安などを感じている方にとっては、街が賑やかになり楽しい雰囲気になると、なんだか「取り残された気分」

寂しかった最初のクリスマス

実は「世界で最初のクリスマス」は、そんなあなたのためにあったのです。クリスマスとは「キリストの祭り」という意味ですが、最初のクリスマスは祭りとは程遠いものでした。聖書にはその時のことがこう記録されています。

「マリアは月が満ちて、男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らがいる場所がなかったからである。」

(ルカの福音書2章6-7節)

なんと、臨月であったイエスの母マリアを迎えた宿屋は一軒もなく、辛うじて得た家畜用のスペースが出産場所でした。誕生した赤ちゃんイエスのベビーベッドも家畜のエサ箱で代用されたのです。一家を気に留める人はおらず、助ける人もいませんでした。唯、赤ちゃんのイエスを訪問したのは、当時社会的にやや低い身分と思われていた羊飼いと、イスラエル人でもない遙か東方からやってきた異邦の学者数人だけだった。その聖書は記録しています。そうです。イエスは華々しく皆に祝われ、喜ばれ、拍手喝采される「スター」として誕生したのではなく、世界の片隅で実に地味に、ひっそりと誕生したのです。

クリスマスが意味するもの

このことは何を意味しているのでしょうか。それは「クリスマスは心に寂しさや悩みを抱えている人のためにある」と言うことです。イエスは自分に満足している人、足りな

いものは何もないと思っている人のところではなく、自分に失望していたり、孤独だったり、人生の悩みに苦しんでいる人、そのような人の友となるために、この世界に生まれて下さったのです。聖書はそのことを次のように記しています。

「あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しきによって富む者となるためです。」

(コリント人への手紙第11章9節)

キリストは神としての栄光を脇に置いて、無力な赤ちゃんとして生まれました。しかもその生涯の終わりは十字架の苦しみでした。それは私たちの罪や苦しみをイエスが代わりに背負うためでした。いのちがけで私たちを愛してくださったのです。

クリスマスカラーの意味

クリスマスのシンボルカラーはそんなイエスの姿を象徴しています。赤は十字架の血を、緑は常緑樹が緑を失わないことからイエスが与える永遠のいのちを、金は神としてのイエスの栄光を、白は罪の無いイエスのきよさを、それぞれ現しているのです。クリスマスはこのイエスが、寂しさを背負っている私たちの友となるために、この地に来て下さった時なのです。ぜひこの愛を心で受け取って頂けたら、と思います。

現代人の心に響く聖書

裏面にはクリスマスその他のイベントのご案内もあります。ぜひご覧下さい。

古川福音自由教会牧師 門谷信愛希